

桜の花も満開となり、春爛漫の四月です。

本日、243名の新1年生を迎え、744名の生徒と、56名の教職員で、平成31年度がスタートします。

今年は、5月1日に年号が平成から令和に替わり、中央中創立41年目の一步を歩み出す節目の年「中央中の新しい時代を築く」今までの歴史の上に新たな1ページを加える1年です。

それは、真っ白なページではなく、過去から引き継がれてきた伝統や文化が書き込まれたページです。そこに書かれている文字一つ一つが、真に私たちの伝統として位置づき、毎日の授業や生活、行事、生徒会活動など、ここにいる皆が、充実した学校生活を送ることが、ページを加えていくことだと考えています。住みたい街ランキング1位になるイメージです。

今年度のスタートにあたり、2つ話をします。

去年の始業式で「ウサギとカメ」の話をしたことを覚えていますか？

ウサギが負けて カメが勝った。

勝敗はスタートする前から決まっていた。

相手を見ていたウサギ VS 自分の決めた目標を見ていたカメ

見ているところのちがいが勝敗を決めた。

あなたは今どこを見えていますか。

と、いう内容でした。実は、この話には続きがあります。

小学1年生の女の子が先生に言いました。

「なんでカメさんは、ウサギさんを起こさなかったの。

一人でゴールするより、二人でゴールする方が楽しいのに。」

子供に教えられた。

一緒にゴールするという勝ち方があることを

なるほど!と、私は思いました。「こんな自分になりたい」「こんなことができるようになりたい」という思いを持つこと、たとえそれが人から見たら小さなことであっても、よりよくなると思う心＝「向上心」が、自分を成長させる出発点であり、向上心をもっている人は必ず伸びる、ことは、今までも話をしてきたことです。

そして、皆さんが昨年度まで取り組んできた、仲間の頑張りやよさを見つけたり、互いに呼びかけ合った生活をしたりすることが、女の子の言う一緒にゴールする喜びにつながっていくのだと、改めて考えさせられました。

## 2つめ

全ての土台が「安心・安全な学校生活」であることも、今まで話をしてきたことです。「自分がされてイヤなことはしない」ことが、みんなと生活をする基本であることは誰もが知っていることです。

どんな理由があっても、いじめは許されることではありません。

「からかい」や「いじり」で、相手に嫌な思いをさせることがあってもいけません。去年のいじめアンケートでは、自分のことを強く反省し、仲間との接し方を正していく人がいました。仲間のことを心配して、いじめではないかとアンケートに記入してくれた人もいました。皆でいじめを許さない意識を、これからも高めていきたいです。また、周りの人とうまく関わっていくSSTの学習を、今年も行っていく計画でいます。

今後、もし辛いことや悲しいことが続いたり、「いじめられている」と感じる人があったりした時には、相談しやすい先生に声をかけてください。先生たちは、すぐに問題解決に向けて全力で取り組むことを約束します。

自分・仲間・安心を考えたとき、

「自分を見つめ 自分を知る」「仲間を知り 思いやる」

ことができる一人一人になってほしい、と、強く願います。

新しいクラス、先生との生活が始まります。

「中央中の新しい時代」を、生徒の皆さんと先生たち、みんなの力で築いていきましょう。

平成31年4月8日 各務原市立中央中学校 校長 鈴木 英巳